

参加孫文記念館移情閣祭の感想

神戸地区中国留学生学友会 叢林



中国留学生のみなさん

首先非常感谢孙文纪念馆移情阁友之会邀请我们参加此次活动。此次活动不光丰富了我们的课外生活，同时与日本友人的交流中也让我们更有机会学习日本文化及介绍中国文化。

在此次活动中，丰富多彩的文艺活动让我们大开眼界，尤其是关于汉语文化的相声表演，在日本友人感叹中国文化博大精深的同时，也让我们更下决心。在以后的文化活动中及交流中尽留学生团体的最大努力，进一步推进中国文化的宣传，为促进中日友好团体交流搬砖添瓦。

今回の移情閣祭ご招待頂いて、誠にありがとうございました。今回の活動から私たちの留学生として学習外の生活を豊かになりました。日本の友人と交流し、日本文化を勉強する機会と中国文化を交流する機会をもらいました。

活動中、いろいろな文芸演出を見たら、目を見張るものがありました。特に中国語文化に関する漫才として、日本友人は中国文化の精妙を感嘆する時、私たちが以後の文化交流活動中全力で中国文化を宣伝して、日中文化交流を促進すると決心しました。

<孫文2015> 音楽と講演の会



コーラス表演



二胡演奏



陳 來幸さん講演

「孫文2015 音楽と講演の会」に参加して

中国文化同好会 元吉 治夫

2015年11月15日(日)14時から孫文記念館(移情閣)1階にて開催された。第1部ではコーラス同好会の出演で「かけはし舞子の移情閣」「在銀色の月光下」「妈妈我爱你」「静夜思」の表演があり、最後に参加者全員で「かけはし舞子の移情閣」の合唱があった。続いて二胡同好会17名の出演による「大海阿故乡」「移情閣組曲」二曲、「飲びの歌」の表演があり、アンコールとして「赛马」の演奏があり、会場から盛んな拍手が送られた。

第2部講演の部では兵庫県立大学経済学部教授 陳来幸氏の講演があった。テーマは「孫文時代の神戸華僑—新参客家と台湾商人を中心として」故陳舜臣氏の姪にあたる同氏の研究テーマである神戸華僑に関する博識から次々と著名な経済人の名前が飛び出した講演であった。

話の初めには孫文の1911年武昌蜂起成功までの失敗の足跡を香港、シンガポール等の史跡の写真を使って説明された。

孫文時代の神戸華僑については19世紀末はまず横浜と東京が中心となり続いて神戸と大阪の華僑が台頭してきた。横浜華僑は広東人が多かった。中華総商会のネットワークシステムがやがて成立、異なる方言体系の華僑の統合が見られる。

孫文の革命に対して北米の華僑は献金で貢献、南洋の中下層華僑は特にシンガポール、ベトナムから軍事面で貢献、日本では留学生の活動が中心と言われてき

たが、指導と組織で華僑の貢献があった。YMCAの教会関係者、現地政財界の瀧川、三上、梅屋等々が居た。1900年には日中貿易の60%は神戸港に移った。また、1911年の武昌起義直後神戸の福建(金門)人、王敬祥が中華民国華商統一連合会を組織したが翌年中華商務総会に復帰。神戸華僑が主体的に新政府を支援した。

孫文時代の台湾人商人は大陸出身者は江蘇省の理髮業、貿易商人などの居留地から近隣への展開が盛ん、台湾出身者は日本への割譲後居住制限無く全国に展開していった。戦後は大都市へ集中する傾向にあった。戦前から台湾商人は神戸に集中していた。台湾勢力はパナマ帽、海陸産物貿易、真珠などニッチな商品の販売に特化していた。陳舜臣の「三色の家」などは海陸産物業者の話が舞台になっている。

神戸に於ける客家系華僑は五華県の楊寿彭のほか、梅県の潘植我、廖道明などが1907年頃に表舞台に登場する。潘一族はインドネシアで華僑として成功し子弟たちを日本へ留学させた。

結びとして、初期は広東華僑中心で横浜に集中(～1899年)。次に神戸、大阪が台頭して出身地が多文化(～1945年)し、戦後は国民党系の客家や大陸共産党に与する客家、台湾から来日した客家が現れる(1945年以降)。以上華僑商人の系譜について様々な会員諸氏との関係のある方々の関わりをやさしく説明された。有意義な講演であった。

～「孫文2015 音楽と講演の会」に演奏参加して～

二胡同好会 梅田 敬子

出演前に控えていた廊下の窓からの景色が、この日は殊に懐かしく綺麗でした。私が胡弓同好会(当時)に入会した頃は、記念館の三階が練習場でした。十年が経ち、今年完成したばかりの『移情閣組曲』を10月の祭りと今回の二回に渡って本拠地で全四曲初演すること

が叶いました。舞子の地で生まれ育った、講師 鳴尾牧子先生の熱い思いがいっぱい詰まったオリジナル曲です。テーマ曲を演奏する!!というのは、私達の長年の夢でした。「みんなで心をこめて美しく奏でたい」と、これからの大きな目標ができました。

<友の会交流広場>



教寄屋で音楽ライブ 7月23日 於 兵庫県立舞子公園旧木下家住宅
移情閣二胡同好会8名が出演し、講師の鳴尾牧子先生の作曲による同好会オリジナル曲『移情閣組曲(全4曲)』より2曲などが公演され、会場は満員御礼で中国楽器の演奏に親しんでいただけた良い機会で大好評に終わりました。

「日中友好交流演奏会」8月22日 於 神戸文化ホール

国際音楽協会の主催で開催され、コーラス同好会指導の張文乃先生の指揮でコーラスのメンバーも参加した国際合唱団が中国語の歌を披露。また、二胡同好会からも13名の会員が出演。中華同文学学校楽奏部と初の共演で素敵なお合奏が会場を魅了しました。今回の演奏会を通じて、参加した会員は中華同文学学校楽奏部との交流ができて良き刺激を受け大感激のようでした。



「関帝廟普度勝会」見学&精進料理を楽しむ会 8月28日 於 関帝廟

孟蘭盆とは日本のお盆に当たる行事です。8月8日の企画運営委員会で「神戸関帝廟の孟蘭盆—水陸普度勝会」について、DVD観賞による研修を実施。28日の初日に林同福会長の案内で友の会15名が参加しました。一年で一番賑わう行事を見学した後、美味しい精進料理も堪能できました。謝謝！(吉村晴夫)

シンガポール孫中山南洋記念館(晚晴園)との交流 10月30-31日 於 神戸

孫文2015特別展のため、来日した晚晴園5名の方々の兵庫県庁表敬訪問・神戸孫文ゆかりの地ミニツアーに友の会(後藤、藤原、城垣、三上)4名が、愛新館長・蔣研究員・村田研究員と一緒に参加しました。また、30日夜香港茶楼と31日記念講演の後舞子ビラでの懇親会に林同福会長なども参加され、海外の孫文記念館の方々と親交を深めることができました。



2015神戸地区ビジョンフェスティバル 11月7日 於 元町商店街

兵庫県神戸地区ビジョン委員会が開催されたイベントに、二胡同好会からは8名が出演し、「ふるさと～花を咲く」などを披露し、大勢の参加者に中国の音楽を親しんでもらったうえに、より広く、友の会の活動のPRにもつながる取組となった。今後とも、このような機会があれば、積極的に活用していきたい。



第3回孫文学勉強会 12月12日 於 孫文記念館2階講義室

今回は「孫文と中華民国の制度設計」について、引き続き孫文記念館研究員蔣海波さんに講義をしていただきました。孫文の国作りの考えかたなどについて、理解を深めることができました。第4回は1月16日に「孫文と国民革命」についてです。集大成に3月12日孫文学検定(模擬)を実施の予定。ふるってご参加ください。

中国文化史セミナー12月13日 於 神戸舞子学院

孫文は辛亥革命によって成立した中華民国の現実に危機感を持ち、逝去直前の『遺囑』の中でも、「革命なおいまだ成功せず」という悲痛な言葉を残した。現実の中国は彼の理想とした「大同世界」とは大きな距離があったのである。孫文は新国家建設のプログラムを『建国方略』に記し、「孫文学説」を提示した。今の中国でそれがどのように受容されているかを、「孫文の儒教と大同思想」と題して報告した。(山田敬三)



風月堂ホール授賞式

張文乃先生「ロドニー賞」受賞お祝い会12月22日 於 神戸産業振興会館

この度、コーラス同好会指導の張文乃先生が音楽を通じての日中交流活動に対し、神戸市民を元気づける活動をした人々に送られる「ロドニー賞」を受賞されました。11月26日の授賞式では、コーラス同好会によって歌が披露されました。お祝いの会は友の会からも多数出席し、約80名が参加。賞主催の風月堂代表下村俊子会長挨拶の後、林同福会長の乾杯音頭で和やかにスタート。最後は皆で合唱して張先生の受賞を祝いました。